

# 高度外国人材の育成・還流事業 「イノベーティブ・アジア (Innovative Asia)」

2019年2月

外務省

国際協力局政策課

# 本日のご説明内容

1. 事業背景
2. 事業概要
3. 実施状況
4. 今後の予定
5. 本プログラム留学生のインターン実施について

# 1. 事業の背景

## 「日本再興戦略2016」(2016年6月閣議決定)

### II 具体的施策

#### 2-3. 多様な働き手の参画

##### (2)新たに講ずべき具体的施策

##### iv)外国人材の活用

##### ②外国人留学生、海外学生の本邦企業への就職支援強化

(略) また、日本政府のODA等の公的資金を活用した、アジア各国での高度人材育成事業により輩出された人材は、我が国との親和性が高い者が多く、国内産業のイノベーションを促進するとともに、母国の発展にも貢献し、我が国と各国の紐帯を強める一助ともなることが期待される。こうした人材が日本とアジア各国との間で還流することを促すため、アジア各国の工学系トップレベル校(大学・大学院)等における、日本政府のODAによる高度人材育成事業の内容に日本の産業界のニーズを反映させ、充実を図る。また、これらの事業を既に実施している大学・大学院に加え、これまでかかる事業を実施していなかったアジア各国の工学系トップレベル校(大学・大学院)等についても、優秀な学生等に対して次の措置を講ずる。

- 我が国とアジアの開発途上国双方におけるイノベーション環境の改善に、人材育成の面で貢献することを目的として、来年度から平成33年までの5年間で1000人を目標に優秀な学生等を日本に招へいし、長期・短期の研修(日本の大学への留学、日本企業でのインターンシップ等)を提供する。
- 優秀な学生等のうち日本企業への就職を希望する者に対して、ジョブフェア、マッチング事業等のサービスを各省が連携して効果的に提供する。
- 優秀な学生等であって、外務大臣が適格性を審査した上で認定する者については、在留資格取得上の優遇措置(「高度人材ポイント制」における特別加算を含む。)や在留資格申請のための提出書類の簡素化等の施策を講じる。

## 2. 事業の概要

アジア途上国の優秀な人材が、日本のイノベーションに貢献するとともに、母国に戻って自国の産業発展に貢献できるよう、政府開発援助(ODA)等を活用して次のような取組を行う。

1. アジア途上国のトップレベル大学を「パートナー校」として指定し、学部卒業見込みの者又は既卒者に対し、日本の大学院での理系分野の(特に情報技術, IoT, 人工知能等に 関連する)研究のための留学や、日本企業等でのインターンシップの機会を提供。
2. 本事業で一定の研修を了した参加者等が、日本で就職する際には、在留資格取得上の優遇措置 (「高度人材ポイント制」の特別加算等)。
3. 在外においては、在外公館が、関係機関等と有機的に連携して、日本企業での就職に関心を持つ者を対象にしたジョブフェア等の開催や情報提供サービスを実施。

→日本での研修, 就職を経て高度人材が日本とアジア各国との間で環流。  
長期的には、我が国と各国との外交関係を強化。

## 2. 事業の概要

### (1) 実施期間

2017年9月～2025年3月 (来日時期は2017年～2021年の5期)

### (2) 受入人数 (※実績の数字は来日人数)

2017年度から5年間で1,000人の受入(長期・短期)を目標

実績: 2017年度(第1バッチ)152名

2018年度(第2バッチ)74名、(短期研修)約40名 (※一部は予定)

予定: 2019年度以降(長期) 約60名/年、(短期)調整中

### (3) 対象国／者

アジア12カ国(インドネシア, カンボジア, タイ, フィリピン, ベトナム, マレーシア, ミャンマー, ラオス, インド、スリランカ、パキスタン、バングラデシュ)の パートナー校60校 の学部生(来日までに学士号取得見込)または卒業生であること

(※日本企業への就職等に関する情報提供の実施及び在留資格取得上の優遇措置(「高度人材ポイント制」の特別加算)の付与については、上記に加え、シンガポール及びブルネイにおける4校のパートナー校も含む。)

## パートナー校一覧

1	インド	インド工科大学グワハティ校	31		モンクット王工科大学トンブリ校
2		インド工科大学デリー校	32		モンクット王工科大学モンクット校
3		インド工科大学ハイデラバード校	33	パキスタン	NED工科大学カラチ校
4		インド工科大学ムンバイ校	34		パキスタン国立科学技術大学
5		インド工科大学カラグプール校	35		ラホール工科大学
6		インド工科大学カンプール校	36	バングラデシュ	ダッカ大学
7		インド工科大学マドラス校（アンナ大学）	37		イスラム・バングラデシュ工科大学
8		インド工科大学ルールキー校	38	フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学
9		インド情報技術大学ジャバルプル校	39		デラサル大学
10	インドネシア	インドネシア大学	40		フィリピン大学ディリマン校
11		ガジャマダ大学	41		ミンダナオ国立大学イリガン工学校
12		スラバヤ工科大学	42	ベトナム	日越大学
13		ダルマプルサダ大学	43		ハノイ工科大学
14		ハサヌディン大学	44		ハノイ工業大学
15		バンドン工科大学	45		ホーチミン市工科大学
16		ボゴール農業大学	46		ホーチミン工業大学
17	カンボジア	カンボジア工科大学	47	マレーシア	マネジメント・サイエンス大学
18		王立プノンペン大学	48		マラヤ大学
19	スリランカ	コロンボ大学	49		マレーシア科学大学
20		ペラデニヤ大学	50		マレーシア工科大学
21	タイ	アジア工科大学	51		マレーシア国民大学
22		カセサート大学	52		マレーシア・サバ大学
23		コンケン大学	53		マレーシア・トゥン・フセイン・オン大学
24		泰日工業大学	54		マレーシア・プトラ大学
25		タマサート大学シリントーン国際工科院	55		ペトロナス工科大学
26		チュラロンコン大学	56		マレーシア・マラ工科大学
27		チェンマイ大学	57	ミャンマー	マンダレー工科大学
28		ブラパー大学	58		ヤンゴン工科大学
29		プリンスオブソクラー大学	59		ヤンゴン大学
30		マヒドン大学	60	ラオス	ラオス国立大学

## 2. 事業の概要

### (5) 対象分野

情報技術、IOT、人工知能等の科学技術分野及び工学分野  
またはこれに関連する分野

### (6) 本邦受入大学

2017年度は15校, 2018年度22校  
2019年度以降は現在調整中

### (7) 研修言語

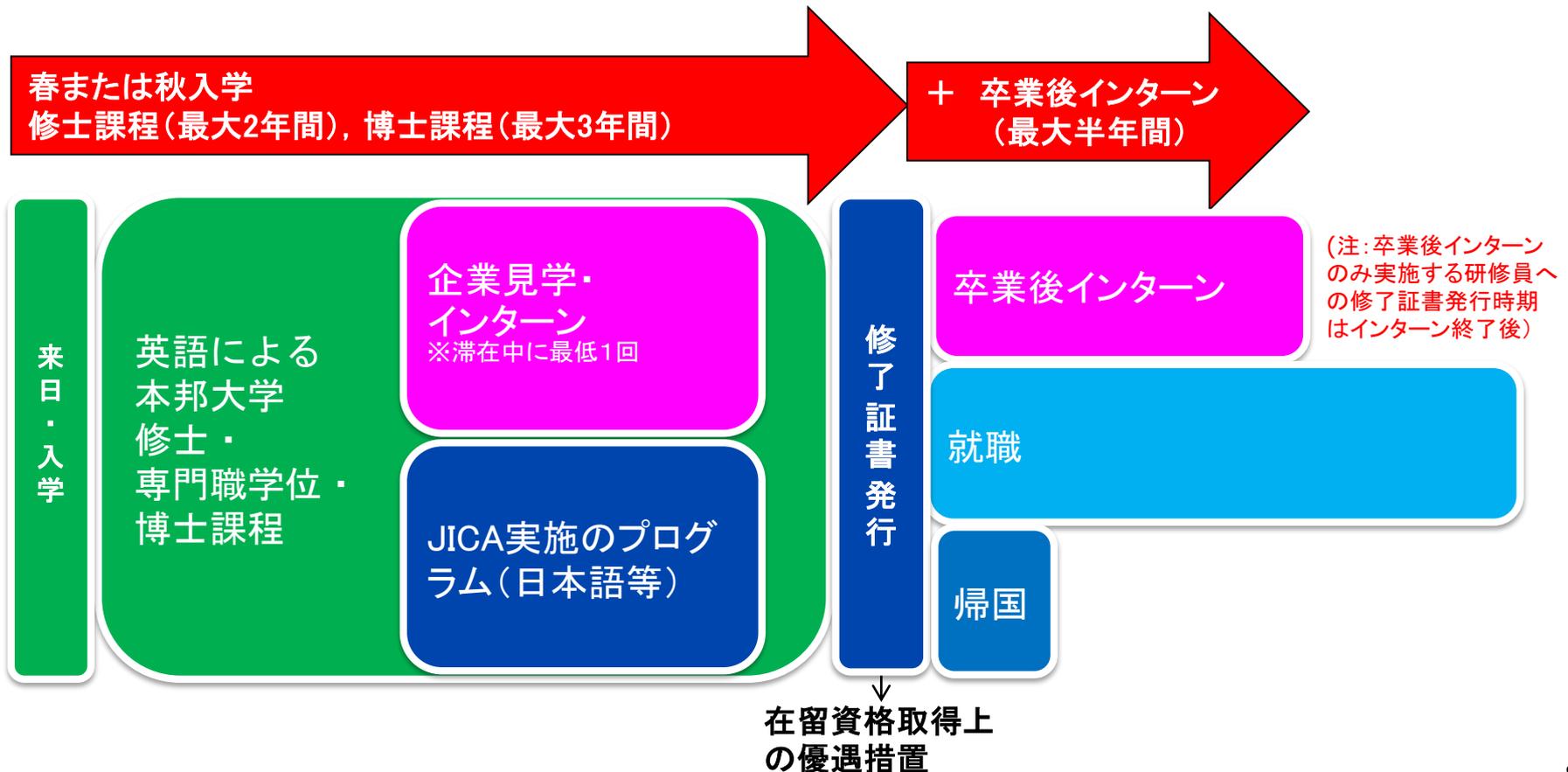
英語

## 2. 事業の概要(スケジュール)

日本の大学院での英語による修士・博士課程

+

日本での企業見学・インターン



## 3. 実施状況

### 【第1バッチ】

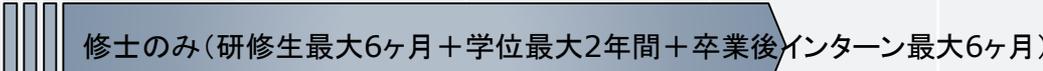
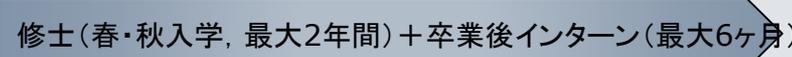
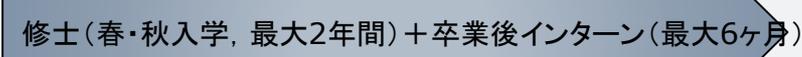
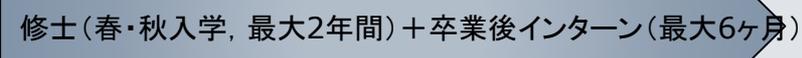
- 2017年9月来日済。
- 2019年2月28日現在、15校に145名が在籍。
- 夏や冬の長期休暇，卒業後に，各自インターンを実施中。  
(受入企業例：Leap-Mind様, AI TOKYO LAB & CO様,等)  
(インターン活動内容例：実践的な業務の経験、実務担当者からの指導、現場視察，等)
- 修士課程88名が2019年秋／2020年春に，博士課程57名が2020年秋／2021年春に卒業予定。

### 【第2バッチ】

- 2018年9月来日済。
- 2019年2月28日現在，21校に73名が在籍。
- 夏や冬の長期休暇，卒業後に，各自インターンを実施予定。
- 修士課程のみで，33名が2021年秋に，36名が2022年春に卒業予定。

# 4. 今後の予定(長期)

(※以下は最大値。研究生入学, 春入学, 秋入学, 卒業後インターン実施等, 在学期間には若干差異あり)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
第1バッチ	 修士(研究生最大6ヶ月+学位最大2年間)+卒業後インターン(最大6ヶ月)						
	 博士(研究生最大6ヶ月+学位最大3年間+卒業後インターン(最大6ヶ月))						
第2バッチ	 修士のみ(研修生最大6ヶ月+学位最大2年間+卒業後インターン最大6ヶ月)						
第3バッチ	 修士(春・秋入学, 最大2年間)+卒業後インターン(最大6ヶ月)						
	 博士(春・秋入学, 最大3年間)+卒業後インターン(最大6ヶ月)						
第4バッチ	 修士(春・秋入学, 最大2年間)+卒業後インターン(最大6ヶ月)						
	 博士(春・秋入学, 最大3年間)+卒業後インターン(最大6ヶ月)						
第5バッチ	 修士(春・秋入学, 最大2年間)+卒業後インターン(最大6ヶ月)						
	 博士(春・秋入学, 最大3年間)+卒業後インターン(最大6ヶ月)						

## 4. 今後の予定(短期)

### 2018年度

時期： 2019年2月～3月

期間： 10日間～1ヶ月間程度(複数大学のプログラムで受入)

人数： 約40名

### 2019年度以降

インターン実施期間も含めて詳細調整中



# イノベティブ・アジア キャリアイベント 参加企業募集要項

## ■ イベント概要

本キャリアイベントは、国際協力機構（JICA）の実施するイノベティブ・アジア事業で来日中の留学生に対して、日本でのキャリア形成への見識を深化すること、また日本企業との交流を通じて、インターンシップや就職への第一歩とすることを目的として開催されます。本事業の留学生のインターンシップ、就職に関してご関心があり、企業説明会へのご参加、見学機会のご提供など本キャリアイベントに参加いただける企業様を募集いたします。

<「JICAイノベティブ・アジア事業」とは>

ODA等を活用したアジアにおける高度外国人材育成・還流事業。2021年度までの5年間でアジアのトップレベル大学等の1,000人の優秀な人材に対し、本邦の大学院、研究機関等における理工学等科学分野の研究のための留学や日本国内の企業等でのインターンシップの機会を提供することを目指す。

## <開催日時および会場>

### 「東京開催」

- 日時：①企業説明会<10社> 2019年3月14日(Thu.) 13:00-17:00  
②企業見学会<5社> 2019年3月15日(Fri.) 9:00-12:00
- 会場：コンファレンススクエアM+（東京都千代田区丸の内2-5-2）

### 「大阪開催」

- 日時：①企業説明会<10社> 2019年3月7日(Thu.)13:00-17:00  
②企業見学会<5社> 2019年3月8日(Fri.) 9:00-12:00
- 会場：大阪国際交流センター（大阪府大阪市天王寺区上本町8丁目2-6）

※①、②のみの参加と、①②両日の参加からお選びいただけます。

## <参加研修員>

参加学生数：各会場70名程度を予定（大学院修士課程・博士課程）

アジア地域のODA対象国12か国（インド、インドネシア、ラオス、スリランカ、パキスタン、タイ、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、カンボジア）のイノベティブ・アジア研修員

専攻分野：工学研究科、基礎工学研究科、情報科学研究科、システム生命科学府、生物資源環境科学府、理工学研究科、環境・社会理工学院、農学生命科学研究科など

使用言語：英語

卒業時期：2019年9月/2020年3月/2020年9月/2021年3月

## <実施内容>

- ①一日目：企業の研究内容PR(各社約10分)、研修員との個別交流会（約3時間）
- ②二日目：企業見学会（約2時間）

## <申込条件>

1. 高度理系外国人材の採用に意欲的またはすでに採用していること。
  2. 採用担当者または技術開発者が来場し、英語にて企業PRおよび研修員との交流を実施いただけること。
  3. 研修生が希望した際、インターンシップの実施を前向きに検討いただけること。
- ※ご要望に応じ通訳補助のご相談をいただけます。

## 申し込み・お問い合わせ先

株式会社パソナ グローバルDotank事業部

担当：清高（きよたか） kiyotaka@pasona.co.jp 080-3751-5403

浅見（あさみ） asami@pasona.co.jp 080-2195-0433

どうぞお気軽にお問合せください。詳しいご案内をさせていただきます。



※本事業は株式会社パソナに運営を委託しています。

# 5. 本プログラムのインターン実施方法

①大学のカリキュラムで実施されるインターンシップ(単位取得要件)  
※大学がインターンシップ先を手配

②産学協働イノベーション人材育成コンソーシアム事業(C-ENGINE)  
対象8大学:東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、早稲田大学、京都大学、大阪大学、九州大学

③大学(指導教員・研究室・キャリアセンター)による紹介

④JICAが主体となるインターンシップ

- ・企業様からのインターンシップ募集
- ・JICA関連企業とのマッチング
- ・企業交流会等への参加によるマッチング
- ・業界団体様等からの紹介

## ご支援いただきたい内容

- ・C-ENGINEへの参加をご検討ください。  
<http://www.c-engine.org/about/member/>
- ・C-ENGINE参加企業おかれては  
当プログラムの学生の受入をお願いします。

つながりのある研究科、教員がいる場合、  
学生受入が可能であれば、教員等に  
情報共有をお願いします。

・インターンシップ登録にご協力ください。  
(「次項\_インターンシップ募集情報登録の  
お願い」参照)

・企業交流会などの実施・情報提供に  
ご協力をお願いします。  
(本プログラムの研修員が参加し、その場で  
マッチングが出来ることが期待されます)

# インターンシップ募集情報登録のお願い

インターンシップ募集登録票を作成し、JICAまでご提出ください。

⇒ [tatuc\\_internship@jica.go.jp](mailto:tatuc_internship@jica.go.jp) (国内事業部大学連携課 イノベーティブアジア担当)

いただいた募集票はJICAから各大学経由で研修員に回付します。  
インターンを希望する研修員から企業様に連絡をします。インターンシップ実施の調整は企業様と研修員とで行っていただくようご協力をお願いします。

## 【主な登録内容】

- ・企業概要(コンタクト先など)
- ・インターンシップ概要
- ・受入日程
- ・受入を希望する学生(研究分野、人数など)
- ・応募に必要な書類
- ・提供可能なもの(PC貸与、交通費補助、宿泊手配および経費負担)  
※経費支援、手配自体を企業様で行っていただけるかなど、具体的に記載いただくようお願いいたします。

## お問い合わせ先

- **外務省国際協力局政策課**

**イノベーティブ・アジア担当者 中路 潤子**

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

TEL: 03-5501-8357

電子メールアドレス: [junko.nakaji@mofa.go.jp](mailto:junko.nakaji@mofa.go.jp)

- **独立行政法人国際協力機構**

**国内事業部 大学連携課イノベーティブ・アジア担当**

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1竹橋合同ビル

TEL: 03-5226-8766

電子メールアドレス: [tatuc@jica.go.jp](mailto:tatuc@jica.go.jp)